



連載企画

支部訪問インタビュー

教えて支部長さん

組合の方針や業界の最新動向を、組合員の社員の皆さまにも広くお伝えして、いかにして支部の活性化と結束を図っていくか。各県支部長に、支部の現状と今後のお考えをリレー方式でお伺いしていきます。シリーズ第3回は、米良副理事長兼宮崎支部長を訪ねました。

— 支部の構成・歴史についてお教えいただけますか？

米良 平成7（1995）年、宮崎県より承認を受け宮崎県電設資材卸商協同組合として設立。全国の電材卸業協同組合としては最後の設立でした。当時組合員は14人。弊社先代の米良充次が初代理事長で、私が引き継いだのは平成17年です。

平成24年、九州一本化に伴い、発展的に解散し、現在正会員（県内に本社を置く正会員）3社、準会員（県外本社出先営業所での登録）2社の構成です。



若い方が多く参加する、恒例秋のボウリング大会。

会員が少ないのでできることは限られてきますけど、この組合は会員間の交流がメインですから、まあ無理のない程度に活動しています。若い人が多く参加できるボウリング大会なんかは、楽しんでもらっているようです。規模の割に請願件数は日本一かもしれないが（笑）。

来年から続く大型イベントに期待

- 一 米良支部長は、平成22年より、宮崎商工会議所の会頭（現在3期目）として、県政の中核でご活躍なさっています。宮崎の景況はいかがでしょう？

米良 人口の流出もそれほど顕著にないし、ぼちぼちといったところでしょう。

来年から2020年にかけては、大きなイベントも控えていますし、8年後の国体開催に向けた整備も同時に進行していくわけで、なかなか忙しくはなるでしょうな。



産学一体の人材育成・地域貢献・イノベーション創出にも注力。

宮崎県は一次産業が主たる産業ですけど、食品に関しては、マンゴー、キャビア、牛・豚・鶏…と、うまいことブランド化が進んでいます。

特に宮崎牛の輸出が好調で、昨年7月時点で270キロだったのが今では年間300トン。台湾への輸出が急激に伸びています。15年連続日本一ですよ。

しかし国内では、消費地から遠いからね。交通インフラは最重要課題で、私も早くから航空会社立ち上げに関わったりと随分苦労もしました。東九州道が整備されたことで、幾分変わったものの、まだ課題は残ります。

平成28年の観光入込客数は1,530万4千人。そのうち訪日外国人は13万9千人。熊本地震の影響で前年に比べ全体では3.1%減少したものの、外国人は前年+3.0%でした。宮崎は「神話の国」。海外の方は神聖なものへの憧れが強いですから、ここに訴求し、伸ばしていきたいところです。



2020年秋開業のアミュプラザ宮崎 出典：JR九州・宮崎交通

- 一 JR宮崎駅西口の開発で、人の流れはどう変わりますでしょうか？

米良 商工会議所会頭として、プロジェクト立ち上げ時から随分と骨を折ってきたから、やっとここまで来たという思いです。駅ビル開発の規模としては、鹿児島や大分には及びませんがね。ミニJR博多シティのようなイメージですかね。

駅ビル開発の豊富なノウハウをもつJR九州さんと、地場インフラを担ってきた宮崎交通さんのタッグによる相乗効果に期待しています。駅周辺にとどまらず、少し離れた中心市街地アーケードまでの人の流れをいかに作るかが、継続的発展の鍵でしょう。

- 一 来年は全日本商工会議所青年部連合会の全国大会、2020年、国民文化祭が宮崎で開催されるそうですね。

米良 うちの常務が県商工会議所 青年部連合会会長で誘致活動に熱心に取り組んでましたけど、ようやく宮崎での開催が決定しました。来年3月開催ですから、しばらくはかかりっきりになるでしょう。

国民文化祭は、文化庁の肝いりで昭和61（1986）年から行われている祭典です。毎年各県が持ち回りで開催しています。

県の歌や演奏、演劇、民俗芸能から料理などの特色ある文化に触れ、教養を養うというもので、これまで本県と同規模の県における開催では、期間中（1ヶ月）300万人くらいの動員があったようです。

対象が学生さんなんで、さほどの経済効果はないけど、両イベントとも若者が集まります。若い方の情報発信力は相当なものですから、宮崎の魅力拡散に期待したいところです。海に山にパワースポット、美味しいもん…と、写真とるには事欠かんでしょう。

いかなる環境でも耐えられる体力を。

- 一 さて、御社では今年、女性の取締役が3名就任したとお聞きました。電気工事組合さまにおいても、人材不足の解決策の一つとして、女性電気工事士の育成に力を入れておられますが、電設資材業界における女性の起用についてどのようにお考えですか？

米良 大いに結構。やる気がある者はどんどん起用。

うちには営業所長をつとめてるのがひとりいますがね。その営業所の責任者が役職定年するから、お前やるかって聞いたらハイ！って言うから。それだけのこと。別に肉体労働やら配達やら自分ですることはないんだから。二つ返事で引き受けただけあって、なかなかの結果を出してくれてますよ。

女性は細やかな工夫を施すことを怠らない。慣例にとらわれず、小さいことから改善を進めていますよ。

あと、起用後は男性が変わったわ。お客さんも社員も。工事店さんは営業所に足を運んでくれるようになったし、態度も優しくなったらしい(笑)。

男性社員は、負けてたまるか！と、意識が高まって、絶対に所長になる！と日報で宣言してくる社員が何人もいましたよ。目標とされ、大いに奮闘してもらいたい。

- 一 事業承継についてはいかがでしょう？

米良 事業継続ならば、自社の頑張り次第だけど、承継となるとそうはいかない。固定資産、相続、税金…と、自社だけでは解決できないことや、判断を間違うととんでもないことにもなりかねない。公の機関や銀行がフォローしていかなければならない。商工会議所としても、力を入れて取り組んでますよ。

電材卸は戦後設立したところが多いから、ちょうど三代目に世代交代の時期だから。組合としてももっと働きかけができるんじゃないかしら。



宮崎商工会議所と県が合同で「県事業承継ネットワーク」を設立

- 一 いまや電材業界は業種間競争の形相を呈していますが、我々の業界が今後どのような変化を遂げ、社会的役割を果たしていくべきでしょうか？

米良 脅威ですよそりゃあ。しかし、異業種の進出をどう阻止するかなんてアタフタと対策立てても、土台無理。明らかに時代が変わった。これまでの商売のやり方では通用しないでしょう。同業ならば話し合っ、落とし所を見つけ、棲み分けなんてのもできたけど、向こうは対話なんて持とうともしてないんだから。

業界の垣根がなくなった！と騒いでるが、垣根がないならこっちから出ていってもいいわけでしょ？

支部長がこれ言っちゃあ元も子もないけど、はっきり申し上げて、組合としてできることは限りなく少ない。各社の自助努力に尽きる。発想の転換をし、実行せんとどうしようもない。

とはいえ、組合を軽んじているわけではないですよ。しっかりと情報は共有し、できる限りの対策を講じて行きたいと思っていますよ。

私も若かった頃は同業者とパチパチに戦っていたけど、今はそんなことやってる場合ではないからね。

本日は貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。

■ 宮崎支部 構成員

組合員 (5社 うち準組合員2社)

株式会社飯干商事 株式会社白陽
米良電機産業株式会社
[準] 株式会社カンサイ 宮崎営業所
[準] 東芝電材マーケティング株式会社 宮崎支店

賛助会員 (29社)

■ おもな年間行事

2月 情報交換会
4月 定時総会 (支部会)
10月 ボウリング大会 (3拠点開催)
11月 臨時総会および忘年会
経営研修会・技術研修会 各1回開催

Best・Shot - 今日の一枚 -







少し分かりづらいですが、こちらは米良電機産業本社社屋のエントランスにかかる看板です。あれ？社名が違いますか？とお尋ねしたところ、昭和47（1972）年に現在の社名「米良電機産業株式会社」に変更されたそうですが、創業からの精神を忘れず保ち続けたいとの思いから、敢えて当時の社名を掲げているそうです。

Pickup Person

 **Hitoshi Hidaka**
HAKUYOU Corp. [FOLLOW](#)







   

株式会社白陽
代表取締役社長 **日高 均** さま

先日（11月20日）、支部会および忘年会を開催しました。その時の米良支部長のごあいさつで、最近ネット販売業者との競争が激化しているとのこと、それまでの組合員同士の競争ではなく、一丸となってネット販売業者との競争に対峙しなければならない時代になったとのことでした。私も賛成ですので、今後の支部長の活躍に期待したいと思います。

 **Kosei Iiboshi**
IIBOSHISYOJI Corp. [FOLLOW](#)



株式会社飯干商事
代表取締役社長 **飯干 耕成** さま

本年は、2年毎に実施している社員旅行の年で、11月に2班に分かれて3泊4日で台湾・台北に行っていました。

小さいながらも営業所が4か所に分かれているので、この機会に他の営業所のメンバー同士の交流を図る場として、また田舎ではできないことを体験し、大いに刺激を受ける場として実施しております。

台湾は何度訪れても食べ物がとても美味しく、3日間で30km以上歩いたにもかかわらず、体重が増えてしまいました（泣）。